



平成20年12月期 第1四半期財務・業績の概況

平成20年4月30日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2501 URL <http://www.sapporoholdings.jp>
 代表者 (役職名) 取締役 社長 (氏名) 村上 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営戦略部長 (氏名) 上條 努 TEL (03) 5423-7407

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期第1四半期の連結業績 (平成20年1月1日 ~ 平成20年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第1四半期	91,652	1.6	△1,300	—	△2,541	—	△3,344	—
19年12月期第1四半期	90,196	5.7	△4,771	—	△5,847	—	△3,981	—
19年12月期	449,011		12,362		8,118		5,508	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第1四半期	△8.53		—	
19年12月期第1四半期	△10.30		—	
19年12月期	14.10		13.76	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年12月期第1四半期	545,282		113,659		20.8		289.08	
19年12月期第1四半期	569,303		116,822		20.5		297.71	
19年12月期	561,858		125,189		22.3		319.07	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年12月期第1四半期	△4,285		△8,105		15,326		8,569	
19年12月期第1四半期	2,440		△4,826		2,199		8,087	
19年12月期	30,690		△13,495		△19,568		5,881	

2. 平成20年12月期の連結業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	208,000	△1.6	△1,000	—	△2,700	—	6,900	—	17.59
通期	449,200	0.0	13,500	9.2	9,200	13.3	12,800	132.4	32.64

平成20年12月期の通期業績予想につきましては、平成20年2月15日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定および本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関しましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当第1四半期の連結経営成績) (平成20年1月1日～平成20年3月31日)

当第1四半期(平成20年1月1日から平成20年3月31日)は、事業再構築に着手した飲料事業の売上数量が前年を下回ったものの、国内酒類事業の売上高が前期実績を上回ったことに加え、国際酒類事業、外食事業、不動産事業とも堅調に推移したことにより、連結売上高916億円(前年同期比14億円、2%増)、営業損失13億円(前年同期は47億円の損失)、経常損失25億円(前年同期は58億円の損失)、四半期純損失は33億円(前年同期は39億円の損失)となりました。

以下、事業セグメント別の概況は記載のとおりです。

[季節性要因による影響について]

当グループの業績は、酒類・飲料・外食事業の需要が特に夏に集中することから、大きな季節変動があり、第1四半期においては、売上高が他の四半期と比較して低くなる傾向があります。

【国内酒類事業】

国内ビール類市場は、年初より始まった食品業界の値上げが話題となる中、2月、3月と同業他社が販売価格の値上げを実施したことにより、第1四半期総需要は前年同期比98.7%にとどまったと推定されます。

このような中、当社国内酒類事業は高価格帯ビール「エビスブランド」が前年同期比12%の伸びを示し、また業務用の樽生についても9%の伸びと堅調に推移し、新製品「ビアファイン」の発売、新ジャンル主力製品「ドラフトワン」リニューアルと相まって総需要を上回ることができました。

ワインについては国産・輸入とも総需要の堅調な伸びと国産ワイン新商品「アロマルージュ」「アロマブラン」の好調な滑り出し、輸入ワインの値上げ効果もあり、売上高は前年同期を上回っております。

焼酎事業も、トライアングル・大容量商品売上が順調であったことから、前年同期比14%の増収となりました。

一方コスト面においては、輸入麦芽・アルミ缶を中心とする原料・資材の価格が上昇し原価高要因となりましたが、広告宣伝費・販売促進費の圧縮、一般経費等コスト削減を推進した結果、営業利益においては前年同期を上回ることができました。

以上の結果、国内酒類事業の売上高は660億円(前年同期比33億円、5%増)、営業損失14億円(前年同期は43億円の損失)となりました。

【国際酒類事業】

北米のビール市場は、総需要が微増と推定される中、市場全体の競争は厳しくなっていますが、国産クラフトビール等一部のプレミアムカテゴリーの需要は底堅く伸長しています。但し、昨年来のサブプライムローン問題に端を発して米国経済が減速しており、今後の個人消費への影響が懸念されます。一方、北米以外の市場においては、アジア各国をはじめとするビール市場は概ね拡大しているものと推定されます。

その中で、当社はプレミアム市場をはじめとして成長する市場に対し積極的な販売活動を行いました。今期より米国のハイエンド市場向けに「エビスビール」の発売も開始しております。これにより、カナダのスリーマン社の販売数量は前年同期比107%、サッポロUSA社の売上数量は前年同期比103%と好調に推移し、輸出事業の売上数量も前年同期比154%と伸長しました。

以上の結果、国際酒類事業の売上高は、販売数量面では順調でしたが、円高の影響により、49億円(前年同期比1億円、3%減)となりました。また、営業損失は2億円(前年同期は1億円の損失)となりました。

【飲料事業】

飲料業界は、昨年に引き続き、炭酸飲料やミネラルウォーターの好調な販売が市場の牽引役となり、総需要は前年同期比101%程度と推定されます。

このような中で、当社飲料事業は、利益重視の営業政策として、不採算取り引きの見直しなど「選択と集中」によるコスト構造改革に着手し、売上数量は前年同期を下回りました。しかしながら、高付加価値ブランドの創出を目指し、サッポロ独自の素材を生かした「ホップ研究所アレルスムーズ」の発売や、「オーシャンズブレイクランベリー」シリーズの強化をするなど、お客様接点の拡大と市場への定着を図りました。さらに、昨年来北海道にてテストマーケティングを実施しご好評を頂いた缶コーヒーブランド「生粋」を全国発売し、好調に推移しております。

組織体制と人員体制の見直し、販促費の効率的な使用、自販機コスト低減等による固定費の削減を推進し、安定した収益構造への転換と、将来に向けた競争力強化へ向け、抜本的な事業の再構築にスピードを上げて取り組んでおります。

以上の結果、飲料事業の売上高は79億円(前年同期比24億円、24%減)、営業損失7億円(前年同期は10億

円の損失) となりました。

【外食事業】

外食業界は、消費者の食の安全性に対する不信感が高まる中で、中国製冷凍食品への毒物混入事件が発生したことにより、ファミリーレストラン業態などが大きな影響を受けています。また、好調であったファーストフード業態の対前年増が一巡したこともあり、減速感が強まっています。

このような中で、当社外食事業は安全・安心・本物志向をテーマとした料理とサービスの品質向上を図るとともに、コストの抑制に努めました。

既存店部門では、「かこいや」や「入母屋」などの和食業態が高い伸び率となり、気温が上昇した3月にはビヤホール部門の売上が伸びるなど好調が続きました。

新規出店としては、3月末に同業態の2号店となる「ジェイズテーブル銀座八丁目店」を開店しました。一方、35年間営業を続けてきた「銀座小松店」がビルの建替えに伴い閉店となるなど3店舗を閉鎖しましたので、当期末の店舗数は199店舗となりました。

コスト面では、仕入れ食材の値上げが相次ぐ中で、Web発注システムを駆使したスケールメリットの追求などにより前年並みの原価率が維持され、人件費率、諸経費率も改善が図られました。

以上の結果、外食事業の売上高は66億円(前年同期比4億円、8%増)となり、営業損失は1億円(前年同期は3億円の損失)となりました。

【不動産事業】

不動産業界は、住宅市場では厳しさを増しておりますが、オフィス賃貸市場においては、東京都心部の空室率は引き続き低位で推移し、賃料水準の上昇は鈍化の動きが見られるものの改善傾向が継続しております。

このような中で、当社不動産事業は、恵比寿ガーデンプレイスなど首都圏を中心とした既存不動産物件において引き続き高稼働率を維持し、賃料増額改定を実施いたしました。また、昨年開業した札幌市のサッポロガーデンパーク周辺における商業用不動産賃貸施設等が売上高の増加に寄与いたしました。一方、エネルギーコストの上昇等がありましたが、減価償却費の減少等により費用も減少しました。

以上の結果、不動産事業の売上高は60億円(前年同期比2億円、4%増)、営業利益は19億円(前年同期比2億円、15%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、サッポロビール大阪工場の臨時償却による固定資産の減少や投資有価証券の含み益の減少などにより、前第1四半期末と比較して240億円減少し、5,452億円となりました。

負債は、社債発行に伴う社債の増加がある一方、短期借入金及び1年内償還社債の減少や当第1四半期末日が銀行営業日となったことによる未払酒税及び買掛金の減少によって、前第1四半期末と比較して208億円減少し、4,316億円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金の減少や為替換算調整勘定の減少により、前第1四半期末と比較して31億円減少し、1,136億円となりました。

当第1四半期のキャッシュ・フローの状況につきましては、以下の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が50億円となり、売上債権の減少額141億円などの増加要因と未払酒税の減少額146億円などの減少要因があり、42億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、81億円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が62億円、無形固定資産の取得による支出が17億円となったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、153億円の収入となりました。これは主に短期借入金の増加159億円、社債の発行による収入38億円があったことによるものです。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は85億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年12月期の連結通期業績予想につきましては、平成20年2月15日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

その他有価証券については、3月末日現在の時価で評価しておりますが、減損処理は行っておりません。

減価償却費については、年度見込額のうち第1四半期までの分を計上しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（売上高の計上方法）

従来、飲料水の販売奨励金は販売費及び一般管理費で処理しておりましたが、飲料水の請求書管理システムを構築し売上高を請求書上で「即引き」する販売奨励金控除後の金額で表示することが可能となったことから、販売奨励金の一部を売上高から控除して計上する方法に変更いたしました。

これにより、従来の方法によった場合に比較して、売上高と販売費及び一般管理費がそれぞれ1,372百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。

また、セグメント情報に与える影響については、「5. (5)セグメント情報」注記事項に記載のとおりであります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	前第1四半期末 (平成19年3月31日)		当第1四半期末 (平成20年3月31日)		対前第1 四半期末比	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		増減 (百万円)	金額 (百万円)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	8,087		8,569		482	6,511	
2 受取手形及び売掛金	54,336		54,842		506	69,685	
3 たな卸資産	26,518		22,699		△3,818	24,041	
4 その他	17,681		25,955		8,274	17,754	
5 貸倒引当金	△210		△228		△17	△275	
流動資産合計	106,412	18.7	111,838	20.5	5,426	117,717	21.0
II 固定資産							
1 有形固定資産	355,641		340,083		△15,558	338,504	
2 無形固定資産	33,094		30,748		△2,345	33,368	
3 投資その他の資産	74,155		62,611		△11,543	72,267	
固定資産合計	462,890	81.3	433,443	79.5	△29,446	444,141	79.0
資産合計	569,303	100.0	545,282	100.0	△24,020	561,858	100.0
(負債の部)							
I 流動負債							
1 支払手形及び買掛金	25,901		21,453		△4,448	26,121	
2 短期借入金及び1年内 償還社債	104,938		79,644		△25,293	64,415	
3 未払酒税	28,008		23,389		△4,619	38,140	
4 その他	90,017		89,369		△647	94,824	
流動負債合計	248,866	43.7	213,857	39.2	△35,009	223,501	39.8
II 固定負債							
1 社債	49,720		73,553		23,833	69,710	
2 長期借入金	77,531		74,679		△2,851	74,339	
3 退職給付引当金	15,626		14,399		△1,227	15,135	
4 その他	60,737		55,133		△5,603	53,984	
固定負債合計	203,614	35.8	217,765	40.0	14,150	213,168	37.9
負債合計	452,480	79.5	431,622	79.2	△20,858	436,669	77.7
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金	53,881	9.5	53,886	9.9	5	53,886	9.6
2 資本剰余金	46,301	8.1	46,313	8.5	11	46,310	8.2
3 利益剰余金	4,599	0.8	8,987	1.7	4,387	14,292	2.5
4 自己株式	△656	△0.1	△873	△0.2	△216	△848	△0.1
株主資本合計	104,126	18.3	108,313	19.9	4,187	113,641	20.2
II 評価・換算差額等							
1 その他有価証券評価差 額金	13,089	2.3	6,733	1.2	△6,355	9,640	1.7
2 為替換算調整勘定	△393	△0.1	△1,683	△0.3	△1,290	1,853	0.4
評価・換算差額等合計	12,695	2.2	5,050	0.9	△7,645	11,493	2.1
III 少数株主持分	—	—	295	0.0	295	53	0.0
純資産合計	116,822	20.5	113,659	20.8	△3,162	125,189	22.3
負債純資産合計	569,303	100.0	545,282	100.0	△24,020	561,858	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日)		当第1四半期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)		対前第1 四半期比	前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日)				
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)		増減 (百万円)	金額 (百万円)	百分比 (%)		
I 売上高		90,196	100.0		91,652	100.0	1,456		449,011	100.0
II 売上原価		62,787	69.6		65,922	71.9	3,135		305,078	67.9
売上総利益		27,408	30.4		25,729	28.1	△1,678		143,933	32.1
III 販売費及び一般管理費		32,179	35.7		27,029	29.5	△5,149		131,570	29.3
営業利益又は 営業損失 (△)		△4,771	△5.3		△1,300	△1.4	3,470		12,362	2.8
IV 営業外収益										
1 受取利息及び配当金	165			138				1,026		
2 その他	164	329	0.4	318	457	0.5	127	1,280	2,306	0.5
V 営業外費用										
1 支払利息	1,053			1,066				4,280		
2 たな卸資産廃棄損	93			148				858		
3 持分法による投資損失	114			21				132		
4 その他	145	1,406	1.6	461	1,697	1.9	291	1,280	6,550	1.5
経常利益又は 経常損失 (△)		△5,847	△6.5		△2,541	△2.8	3,306		8,118	1.8
VI 特別利益										
1 固定資産売却益	5			55				6,769		
2 投資有価証券売却益	19			1				766		
3 貸倒引当金戻入益	—			78				27		
4 その他	—	25	0.0	—	134	0.1	109	32	7,596	1.7
VII 特別損失										
1 固定資産除却損	179			478				1,300		
2 減損損失	—			—				6,939		
3 固定資産臨時償却費	—			—				6,583		
4 ギフト券回収引当額	—			746				—		
5 その他	0	179	0.2	1,458	2,683	2.9	2,504	670	15,493	3.5
税金等調整前当期純利 益又は税金等調整前四 半期純損失 (△)		△6,001	△6.7		△5,090	△5.6	911		221	0.0
法人税、住民税及び事 業税	90			23				3,349		
法人税等調整額	△2,107	△2,017	△2.3	△1,761	△1,737	△1.9	279	△8,634	△5,285	△1.2
少数株主損失		2	0.0		7	0.0	5		1	0.0
当期純利益又は 四半期純損失 (△)		△3,981	△4.4		△3,344	△3.7	637		5,508	1.2

(3) 連結株主資本等変動計算書

前第1四半期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日 残高 (百万円)	50,066	42,484	10,472	△571	102,451
第1四半期中の変動額					
新株の発行	3,815	3,815			7,630
剰余金の配当			△1,890		△1,890
四半期純損失 (△)			△3,981		△3,981
自己株式の取得				△86	△86
自己株式の処分		1		1	3
株主資本以外の項目の第1四半期 中の変動額 (純額)					
第1四半期中の変動額合計 (百万円)	3,815	3,817	△5,872	△84	1,674
平成19年3月31日 残高 (百万円)	53,881	46,301	4,599	△656	104,126

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合 計		
平成18年12月31日 残高 (百万円)	11,318	△276	11,041	2	113,495
第1四半期中の変動額					
新株の発行					7,630
剰余金の配当					△1,890
四半期純損失 (△)					△3,981
自己株式の取得					△86
自己株式の処分					3
株主資本以外の項目の第1四半期 中の変動額 (純額)	1,771	△116	1,654	△2	1,651
第1四半期中の変動額合計 (百万円)	1,771	△116	1,654	△2	3,326
平成19年3月31日 残高 (百万円)	13,089	△393	12,695	—	116,822

当第1四半期(自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年12月31日 残高 (百万円)	53,886	46,310	14,292	△848	113,641
第1四半期中の変動額					
剰余金の配当			△1,960		△1,960
四半期純損失(△)			△3,344		△3,344
自己株式の取得				△28	△28
自己株式の処分		2		4	7
株主資本以外の項目の第1四半期中の変動額(純額)					
第1四半期中の変動額合計 (百万円)	—	2	△5,305	△24	△5,327
平成20年3月31日 残高 (百万円)	53,886	46,313	8,987	△873	108,313

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合 計		
平成19年12月31日 残高 (百万円)	9,640	1,853	11,493	53	125,189
第1四半期中の変動額					
剰余金の配当					△1,960
四半期純損失(△)					△3,344
自己株式の取得					△28
自己株式の処分					7
株主資本以外の項目の第1四半期中の変動額(純額)	△2,906	△3,536	△6,443	241	△6,201
第1四半期中の変動額合計 (百万円)	△2,906	△3,536	△6,443	241	△11,529
平成20年3月31日 残高 (百万円)	6,733	△1,683	5,050	295	113,659

前連結会計年度 (自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年12月31日 残高 (百万円)	50,066	42,484	10,472	△571	102,451
当連結会計年度中の変動額					
新株の発行	3,820	3,820			7,640
剰余金の配当			△1,890		△1,890
新規連結による増加高			202		202
当期純利益			5,508		5,508
自己株式の取得				△284	△284
自己株式の処分		5		7	12
株主資本以外の項目の当連結会計 年度中の変動額 (純額)					
当連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	3,820	3,825	3,820	△277	11,189
平成19年12月31日 残高 (百万円)	53,886	46,310	14,292	△848	113,641

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合 計		
平成18年12月31日 残高 (百万円)	11,318	△276	11,041	2	113,495
当連結会計年度中の変動額					
新株の発行					7,640
剰余金の配当					△1,890
新規連結による増加高					202
当期純利益					5,508
自己株式の取得					△284
自己株式の処分					12
株主資本以外の項目の当連結会計 年度中の変動額 (純額)	△1,677	2,129	452	51	503
当連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	△1,677	2,129	452	51	11,693
平成19年12月31日 残高 (百万円)	9,640	1,853	11,493	53	125,189

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日)	当第1四半期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書 (自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動による キャッシュ・フロー			
1 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,001	△5,090	221
2 減価償却費	5,757	5,629	24,526
3 固定資産臨時償却費	—	—	6,583
4 減損損失	—	—	6,939
5 退職給付引当金の減少額	△675	△736	△1,166
6 貸倒引当金の減少額	△11	△73	△295
7 受取利息及び受取配当金	△165	△138	△1,026
8 支払利息	1,053	1,066	4,280
9 有形固定資産売却益	△5	△55	△6,769
10 有形固定資産売却除却損	179	478	1,300
11 売上債権の減少額	19,248	14,152	4,387
12 たな卸資産の増減額 (増加:△)	△2,137	715	777
13 仕入債務の減少額	△3,014	△4,347	△3,015
14 未払酒税の減少額	△10,263	△14,645	△207
15 その他	204	1,936	△248
小計	4,167	△1,105	36,288
16 利息及び配当金の受取額	384	383	991
17 利息の支払額	△875	△782	△4,237
18 法人税等の支払額	△1,236	△2,781	△2,350
営業活動による キャッシュ・フロー	2,440	△4,285	30,690
II 投資活動による キャッシュ・フロー			
1 投資有価証券の取得 による支出	△34	△588	△250
2 投資有価証券の売却 による収入	779	101	2,804
3 有形固定資産の取得 による支出	△4,441	△6,269	△17,815
4 有形固定資産の売却 による収入	8	60	7,206
5 無形固定資産の取得 による支出	△1,210	△1,726	△2,067
6 長期貸付金の実行 による支出	△67	△14	△74
7 長期貸付金の回収 による収入	104	100	414
8 その他	35	230	△3,711
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,826	△8,105	△13,495

	前第1四半期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日)	当第1四半期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書 (自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
Ⅲ 財務活動による キャッシュ・フロー			
1 短期借入金の増減額 (減少:△)	22,779	15,979	△4,999
2 長期借入れによる収入	4,000	10,000	24,001
3 長期借入金の返済 による支出	△22,952	△9,064	△50,335
4 社債の発行による収入	—	3,843	19,925
5 社債の償還による支出	—	—	△10,000
6 コマーシャルペーパーの増 減額 (減少:△)	—	△4,000	4,000
7 配当金の支払額	△1,544	△1,660	△1,888
8 その他	△83	228	△271
財務活動による キャッシュ・フロー	2,199	15,326	△19,568
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る 換算差額	△9	△248	△43
Ⅴ 現金及び現金同等物の 増減額 (減少:△)	△195	2,687	△2,416
Ⅵ 現金及び現金同等物の 期首残高	8,282	5,881	8,282
Ⅶ 新規連結に伴う現金及び現 金同等物の増加額	—	—	15
Ⅷ 現金及び現金同等物の 期末残高	8,087	8,569	5,881

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

摘要	前第1四半期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年3月31日)						
	酒類事業 (百万円)	飲料事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	67,761	10,431	6,161	5,841	90,196	—	90,196
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,356	29	—	649	2,035	(2,035)	—
計	69,118	10,460	6,161	6,490	92,231	(2,035)	90,196
営業費用	73,631	11,541	6,474	4,813	96,461	(1,493)	94,967
営業利益又は営業損失(△)	△4,513	△1,080	△312	1,677	△4,229	(541)	△4,771

摘要	当第1四半期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年3月31日)						
	酒類事業 (百万円)	飲料事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	71,011	7,941	6,628	6,072	91,652	—	91,652
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,170	31	—	616	1,817	(1,817)	—
計	72,181	7,972	6,628	6,688	93,470	(1,817)	91,652
営業費用	73,929	8,699	6,772	4,759	94,161	(1,208)	92,952
営業利益又は営業損失(△)	△1,748	△727	△143	1,928	△690	(609)	△1,300

摘要	前連結会計年度 (自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日)						
	酒類事業 (百万円)	飲料事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	343,670	52,239	28,954	24,147	449,011	—	449,011
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	6,323	330	—	2,639	9,293	(9,293)	—
計	349,993	52,569	28,954	26,787	458,305	(9,293)	449,011
営業費用	342,139	53,408	28,298	19,714	443,560	(6,912)	436,648
営業利益又は営業損 失(△)	7,854	△839	656	7,073	14,744	(2,381)	12,362
II 資産、減価償却費、 減損損失及び資本的 支出							
資産	334,827	9,618	14,542	187,815	546,804	15,053	561,858
減価償却費	15,525	425	799	7,776	24,526	—	24,526
減損損失	204	570	214	5,950	6,939	—	6,939
資本的支出	13,988	394	1,706	3,458	19,548	—	19,548

(注) (1) 事業区分の方法は、日本標準産業分類を参考にし、各事業の営業内容の類似性により区分しております。

(2) 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類事業	ビール・発泡酒等・ワイン・ウイスキー・焼酎他・物流・プラント
飲料事業	飲料水
外食事業	ビヤホール・レストラン
不動産事業	不動産賃貸・不動産販売・商業施設運営・ユーティリティ供給・スポーツ施設運営

(3) 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、前第1四半期569百万円、当第1四半期621百万円、前連結会計年度2,477百万円であり、これは、当社で発生した費用であります。

(4) 会計方針の変更

(前第1四半期)

該当事項はありません。

(当第1四半期)

【定性的情報・財務諸表等】の4. その他の「(3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更」に記載の通り、当第1四半期から、「売上高の計上方法」について会計処理の変更を行っております。これにより、従来の方法によった場合に比較して、当第1四半期の飲料事業における売上高及び営業費用が1,372百万円減少しておりますが、営業利益に与える影響はありません。

(前連結会計年度)

該当事項はありません。